

舞踊における作品の創作意図と動きの表現性との関連

中京女子大学 猪崎弥生
筑波大学名誉教授 松浦義行

1. 研究目的

これまで猪崎・松浦（1999, 2000 a, 2000 b, 2000 c, 2001）は、身体部分軸を補助軸にする動的力性の評価軸、動き構成軸、動き頻度軸の3次元で構成される舞踊における動きの3次元評価モデルから検討された動きの出現頻度と力（weight）における動的力性の質の観点から舞踊作品の特性を明らかにすることができるという仮説のもとで、舞踊作品の分析方法への有効な資料を得ることができた。そこで本研究では、筆者が振り付けた創作意図が明白である2つの舞踊作品を対象にして、舞踊における動きの3次元評価モデルを用いて得られた動きの出現頻度と動的力性の分析結果を動きの表現性と捉え、その動きの表現性と創作意図との関連を作品の構成の観点から明らかにし、さらに、本研究で用いた舞踊における動きの3次元評価モデルが舞踊作品の分析を行うに妥当な尺度であるかどうかを検討したいと考える。

2. 研究方法

①分析対象と動きの評価方法／平成11年あきた全国舞踊祭モダンダンスシニア部門入選「レクイエム」、平成12年あきた全国舞踊祭モダンダンスシニア部門2位入賞「夜想曲」を舞踊熟練者2名が作品のV.T.Rを通して見られる動き（body action）ごとに動きは何か（gesture, stepping, locomotion, jumping, turning, falling & recovering）を判定し、その動きの4身体部分別（頭部と胴体、上肢、右下肢、左下肢）に動的力性の観点での5段階評価（1は弱い、3は普通、5は強い）を行った。さらに分析の精度を高めるために、行動コーディングシステム（多因子行動観察分析装置）(株)D.K.H製を用いて、時間経過にそって基本的動きの種類とその動的力性の評価を再度行った。②分析方法／舞踊作品における基本的動きの種類、及び各基本的動きの4身体部位での動的力性の主観的評価を行い、作品の素データとした。さらに作品における動きの出現頻度を同一時間に生じた頻度に換算することによって、比較できる相対頻度を分析データに加え、行動コーディングシステムの分析結果から得られた各基本的動きの平均成就時間数も分析データに加えることとした。そこで次の6つを作品の特性を分析するための観点とした。1) 6種類の基本的動きの相対頻度 2) 各基本的動きにおける4身体部分の動的力性の主観的評価値

の平均値 3) 各基本的動きの平均成就時間数 4) 作品全体における1つの基本的動きの平均成就時間数（作品時間÷総基本的動き数） 5) 作品全体における動的力性の主観的評価値の平均値とその標準偏差 6) 行動コーディングシステムを用いて得られた時間経過に合わせた基本的動きと動的力性の変化

3. 結果と考察

①悲しみが癒されていく心の軌跡を表現しようとした「レクイエム」は、創作意図を持つ7つのフレーズに分類され、作品構成は、I部の「悲しみの中で」、II部の「悲しみとの葛藤」、III部の「悲しみを超えて」の3部構成である。動きでは身振り、ステップ、移動する動き、ターンの出現頻度が大きく、またジャンプが見られず、1つの基本的動きの平均時間数は3.56秒、作品全体の動的力性の平均値は3.32であった。（表1, 2）よって、「レクイエム」はジャンプという空間の上下移動がない、主に身振り、ステップ、移動する動き、ターンなどの普通の速さと強さの動きで構成される作品である。②夜の静寂の中で自分探しの心の旅を表現しようとした「夜想曲」は、創作意図を持つ6つのフレーズに分類され、作品構成は、I部の「夜の静寂の中でさまよう」、II部の「心の旅をすることで自分を取り戻す」の2部構成である。動きでは身振りの出現頻度が極めて大きく、ステップ、移動する動きの出現頻度が大きく、1つの基本的動きの平均時間数は2.43秒、作品全体の動的力性は3.29であった。（表1, 2）よって、「夜想曲」は身振りを中心にしてステップや移動する動きなどのやや速めの普通の強さの動きで構成される作品である。③創作意図を妥当基準（criterion）として、動きの3次元評価モデルから構成された舞踊における動きの評価尺度を用いて、舞踊作品の特性を適切に表現し得ると考えられた。

Table 1 Frequency and Kinetic force of Body action in "Requiem" and "Nocturne"

Requiem	gesture	stepping	locomotion	jumping	turning	f&r
frequency	20	15	14	0	11	3
relative frequency	8.93	6.70	6.25	0	4.91	1.34
mean subjective evaluation of k. force	3.31	3.55	3.36	0	3.25	2.42
mean time of body action	5.27	2.46	3.47	0	1.87	3.31
Nocturne	gesture	stepping	locomotion	jumping	turning	f&r
frequency	40	21	20	3	8	1
relative frequency	17.70	9.29	8.85	1.33	3.54	0.44
mean subjective evaluation of k. force	3.47	3.04	3.17	3.50	3.53	2.00
mean time of body action	2.91	1.70	2.57	0.85	1.72	1.45

f&r: falling and recovering

Table 2 Mean time of body action, Mean subjective evaluation k. force, Standard deviation

	body action	time	mean time	mean kinetic force	SD
Requiem	63	224	3.556	3.321	0.791
Nocturne	93	226	2.430	3.290	0.949

time : time of entire piece
mean time : mean time of body action in entire piece
mean k. force : mean kinetic force in entire piece